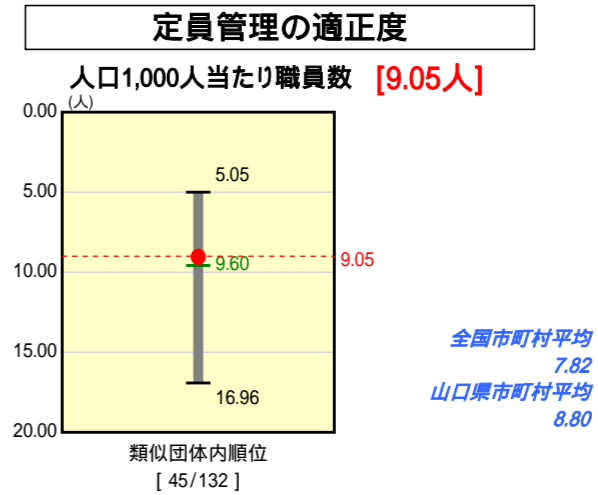
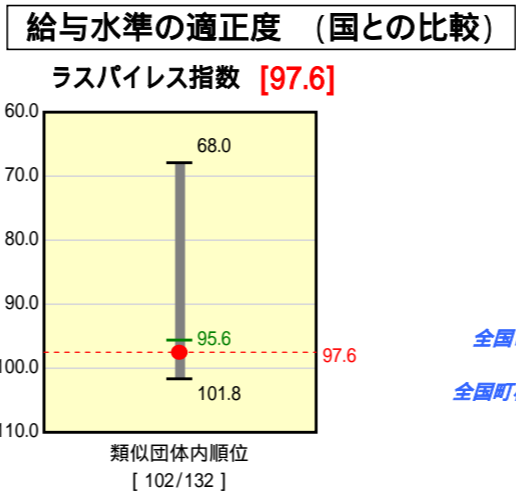
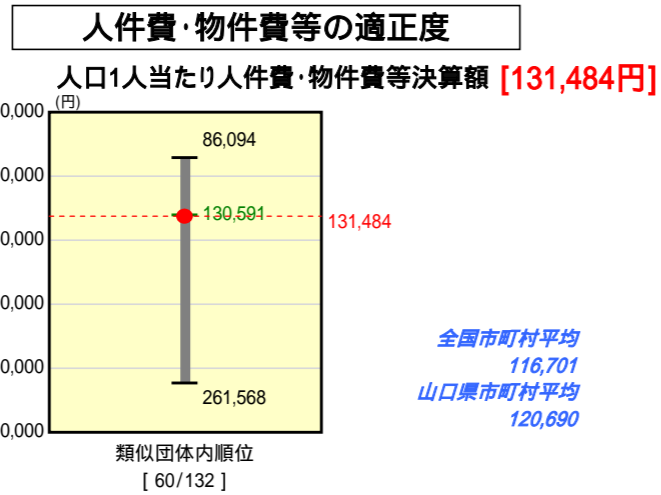
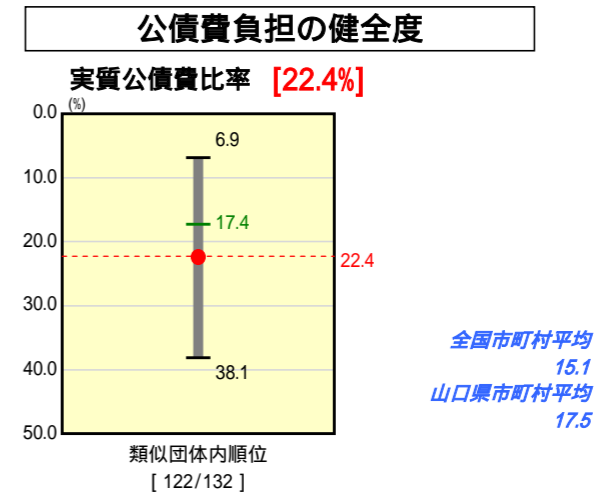
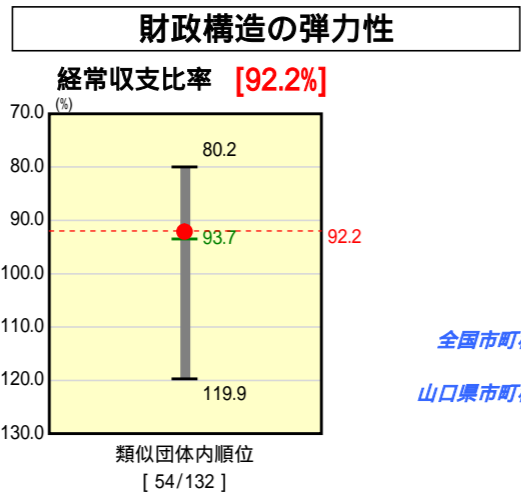
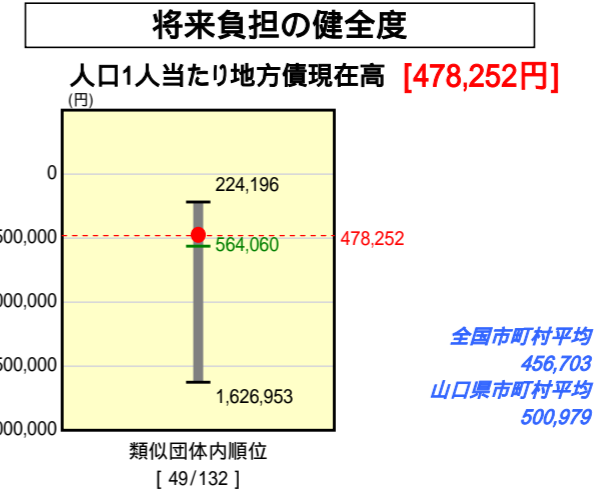
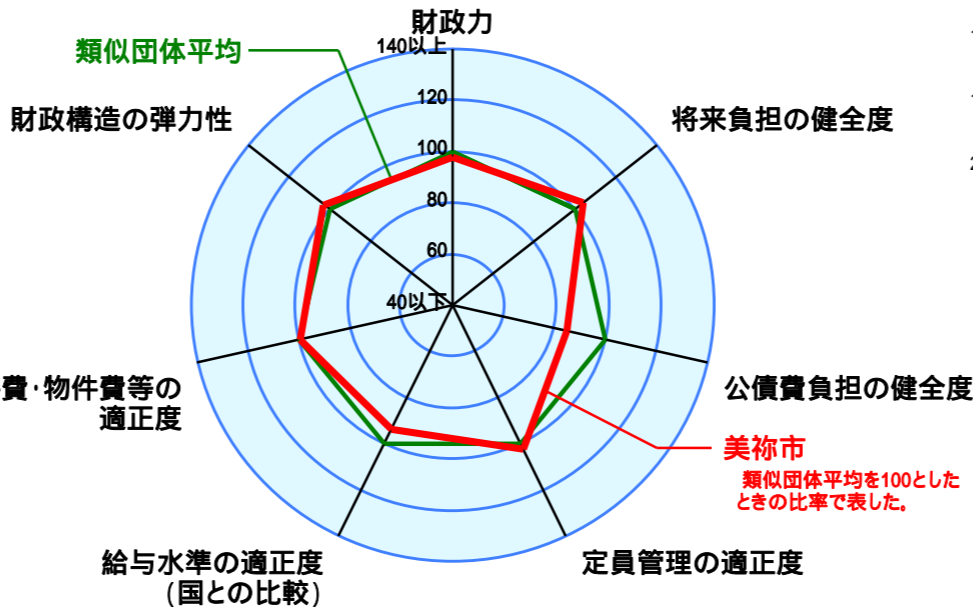
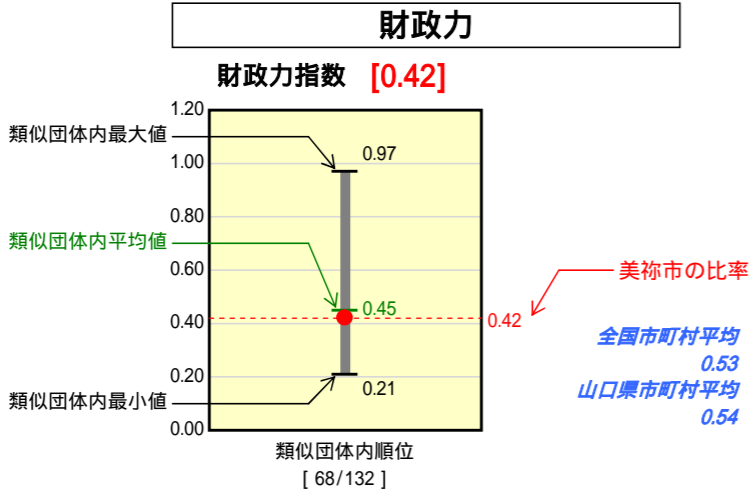


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

山口県 美祢市

人口	18,007	人(H19.3.31現在)
面積	228.25	km ²
歳入総額	8,470,242	千円
歳出総額	8,347,977	千円
実質収支	94,180	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数:
近年、財政力指数は改善傾向にあるものの、類似団体平均を下回っており、交付税への依存度が高い状況にある。行財政改革を強力に推進し、持続可能な財政構造への転換を図る。

経常収支比率:
病院事業にかかる基準内繰出金が減少したこと等により前年度と比し 1.0%となったものの、依然として財政が硬直化した状況にある。行政改革大綱に基づく新規職員採用の抑制や、経費の節減合理化等を推進することにより、義務的経費の削減に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額:
類似団体平均とほぼ同水準にある。今後とも指標が悪化しないよう、行政コストの縮減に継続して取り組む。

ラスパイレス指数:
行政改革大綱に沿った給与削減の実施により、全国市平均を0.3下回ったものの、類似団体の中では、平均を2.0上回っている。今後も、総人件費の縮減に努め、職務や能力・実績を反映できる給与制度の構築等により、より一層の給与の適正化に努める。

人口1人当たり地方債現在高:
近年、普通建設事業の抑制に併せて市債発行も抑制を図ってきた結果、類似団体平均を下回っている。今後も、財政の健全化に努め、後世代の負担が過度にならないように市債の活用を図る。

実質公債費比率:
下水道事業・病院事業・水道事業の公債費に係る繰出金等により類似団体平均を上回っている。普通建設事業について、その必要性・効率性・緊急度を勘案し事業の取捨選択を行い、市債の発行を適正規模に抑制することにより比率の改善を図る。

人口1,000人当たり職員数:
過去からの新規採用抑制策等により類似団体平均を下回っている。今後も、住民サービスを低下させることなく、LANを活用した事務の集中処理を推進し、さらに、指定管理者制度の導入による民間委託を一層進めること等により、職員数において、平成17年度を初年度とし平成22年度当初までに、12名の削減を図る。